

事業名	企業による事業提案制度
セールスポイント	・ 企業が自らのノウハウを活かして地域課題の解決につながる事業を提案し、採択された事業に対して区が初期支援を行う制度を新たに創設 ・ 基本構想に掲げた3つの理念のうちの1つである「みんながつながる」における「共創の推進」を本制度の実施により体现していく ・ 初期経費が課題となっている企業に対し支援を行うことで、事業収益による自立・持続可能な事業への成長を促す

事業の内容

1. 事業実施に至った経緯、背景など

- ・ 令和5年度より、豊島区に新たに事業化してほしい取組を区民から具体的に提案いただき、その中から、区民による投票により、実現する提案を決定する「区民による事業提案制度」を実施。
- ・ 区民提案制度に加え、今回、地域課題の解決に主体的に取り組もうとする事業者を対象にした、「企業による事業提案制度」を新たに創設。

2. 目的

区の最高指針である基本構想に掲げている「共創の推進」を、本制度の実施により体现していくため。

3. 事業内容

- ・ 豊島区をよりよくしたい企業から、地域課題の解決につながる具体的な提案をしてもらい、企業のノウハウを活用して実施する事業に対し、区が支援を行う。
- ・ 提案のあった事業の中から、区民投票を経て、外部有識者を交えた審査会にて事業化を行う案件を採択。

4. 募集テーマ

豊島区基本構想に掲げる「7つのまちづくりの方向性」

- 1 地域と共に支えあう安全・安心なまち
- 2 子育てしやすく、子ども・若者が自分らしく成長できるまち
- 3 生涯にわたり健康で、地域で共に暮らせる福祉のまち
- 4 豊かな心と活発な交流を育む多彩な文化のまち
- 5 活気とにぎわいを生みだす産業と観光のまち
- 6 共につくる地球にも人にもやさしいまち
- 7 誰もが居心地の良い歩きたくなるまち

5. 対象

民間の企業・団体等(区内外を問わない)

6. 補助額・補助期間

補助額 : 提案1件につき500万円/年(総事業費の1/2)を上限

補助期間 : 最長3年間(その後は自走することを目指す)

7. スケジュール

7月1日～	提案募集(9月30日募集締切)
11月～12月	区民投票
令和8年1月頃	審査会・採択提案決定
2月頃～	事業の詳細検討
4月以降	事業実施

事業名	区民による事業提案制度
セールスポイント	・「区政を推進するための区役所改革」の取組の一つとして実施 ・区民が事業提案し、区民の投票により予算案に盛り込む事業を選定する制度で、5月1日から6月13日まで提案募集 ・募集テーマは「多様性の尊重・多文化共生」または「こころと体の健康づくり」 ・募集締切後、提案内容の審査を行ったうえで、8月～9月上旬に区民投票を実施予定

事業の内容

1. 事業内容

- ・豊島区に新たに事業化してほしい取組を区民から具体的に提案いただくとともに、その中から、区民による投票により、実現する提案を決定する「区民による事業提案制度」を、令和5年度から実施。
- ・昨年度は「防災」及び「デジタル」のテーマで提案を募集。78件の提案が集まり、区民投票によって6件の提案が選定され、5つの事業として令和7年度予算に計上した。
- ・今年度も昨年度と同様のスキームで事業を行い、決定された提案は令和8年度予算案に計上する。

2. 目的

- ・従来の発想にとらわれない新たな視点から、課題の抽出及び課題解決を目指す。
- ・区政に係る諸課題に対する提案を区民から募集し、さらに区民が直接選ぶことにより、区民の声を直接施策に反映させる区政参画の仕組みを構築する。
- ・「事業提案」という形で、これまでつながりにくかった区民との新たなつながりを確保する。

3. 募集テーマ

- ①「多様性の尊重・多文化共生」 ②「こころと体の健康づくり」

(テーマとした理由)

- ・「多様性の尊重・多文化共生」…平和と人権の尊重やジェンダー平等、女性のエンパワーメントの推進、性別等に起因した様々な困難を抱える人々への支援の充実、外国人の活躍推進等は、基本計画の理念に掲げる「誰もがいつでも主役」の実現に向け、分野横断的に取り組んでいく共通の方針である。
この方針を踏まえ、多様性の尊重や多文化共生に関する取組は区として速やかに実施していく必要があるため。
- ・「こころと体の健康づくり」…年代・性別ごとに健康課題は様々であり、精神の不調や疾患を抱える方も増えている。新保健所の開設(R8年度)も予定されている中、健康に向けた取組の加速は区としても特に注力していくべき課題の1つであるため。

4. 対象

- ・豊島区内に在住・在勤・在学の方(年齢制限なし) ※区職員・区議会議員等は対象外
- ・豊島区内に活動拠点を有する、企業・団体・学校・グループ

5. 上限額

提案1件につき1000万円を上限とする

6. スケジュール

- ・5月1日～6月13日 提案募集
- ・7月頃 提案内容の確認・審査
- ・8月～9月上旬 区民投票(インターネット及び投票用紙により投票)
- ・9月中旬～12月 投票結果を踏まえ、各事業の令和8年度予算案を作成
- ・令和8年2月～3月 区議会の議決を経て事業化

豊島区ホームページ
「区民による事業提案制度」



事業名	チャレンジクラス「スリジエ」の開級
セールスポイント	・ 不登校生徒を対象にチャレンジクラスを開級し、都の正規教員による少人数指導を実施 ・ 登校時刻を遅らせたり下校時刻を早めたりするなどゆとりある生活時程を実現 ・ スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーや不登校対策支援員等による相談体制の充実

事業の内容
1. 事業実施に至った経緯、背景など 全国の不登校児童・生徒が35万人を超え、小・中学校における不登校児童・生徒数の増加が社会的な問題となっている。豊島区においても不登校児童・生徒数は年々増えており、5年間で2倍以上に増加。不登校児童・生徒へのきめ細やかな対応が必要となっている。 不登校対策の1つとして、令和7年4月より都独自の取り組みであるチャレンジクラス(不登校対応校内分教室)「スリジエ」を西池袋中学校に開級した。 2. 目的 不登校生徒の学びを保障し、不登校及び不登校傾向の生徒がもつ、「新たな環境で学びたい」という主体性を大切に、安心できる環境の中で将来に向けた社会的自立を図るため。 3. 内容 不登校生徒が安心して学校生活を送ることができるようなゆとりある生活時程を実現し、正規教員の指導のもと実態に応じた支援を行う。 <特徴> ・ 東京都の正規教員が個別指導や少人数指導を行う。生徒の状況に合わせ、1日4時間程度で授業を実施。 ・ 通常学級との交流学习も実施 ・ 音楽、美術や家庭科などの授業を始め、スリジエ独自の行事を計画するなど、チャレンジする意欲を育む ・ スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーや不登校対策支援員等が支援 4. 対象 以下の4点に当てはまる生徒 (1) 豊島区立学校に在籍または豊島区在住の生徒(豊島区在住であれば現在の在籍校は国公立を問わない) (2) 何らかの心理的、情緒的、身体的若しくは社会的要因又は背景によって、年間30日以上出席しない、またはすることができない状況にある不登校の生徒 (3) 体験入級を10日間程度設定し、6割以上登校できた生徒 (4) 入級審査会(教育委員会及び学校関係者等が出席)で入級が適切だと判断された生徒 5. 事業費 教室の環境整備費・・・5,500,000 円

事業名	適応指導教室(柚子の木教室)での昼食提供の試行
セールスポイント	・ 宅配弁当の無償提供により、不登校児童・生徒が適応指導教室(柚子の木教室)に通いやすくなる環境を整備 ・ 対象児童・生徒へ昼食を提供することで、適応指導教室への通級の安定を図るとともに、学校への復帰、学習や生活習慣の改善、情緒の安定、社会性の育成を促進させ、不登校及び不登校傾向の改善に寄与する

事業の内容	
1. 事業実施に至った経緯、背景など	豊島区立の小・中学校に在籍する児童・生徒及び区内在住の特別支援学校在籍者を対象として、学校給食の無償化事業を、令和5年度2学期より実施。 一方、不登校児童・生徒が通学する適応指導教室(柚子の木教室)には給食設備がなく、昼食は各家庭の費用負担により用意することになっている。
2. 目的	宅配弁当の無償提供により、不登校児童・生徒が柚子の木教室に通いやすくなる環境を整備することで、学習や生活習慣の改善、情緒の安定、社会性の育成を促進させ、不登校及び不登校傾向の改善に寄与するため
3. 内容	柚子の木教室に通級している児童・生徒に、昼食として、宅配弁当を無償提供する体制を整えるため、6月以降にトライアルを実施する。トライアルの結果、児童・生徒・保護者からの意見などをもとに、本格実施の検討をする。
4. 対象・事業費・今後の見通しなど	(1)対象 柚子の木教室に通級する児童・生徒28名(小学生11名、中学生17名)※ ※トライアル中は4月末の入級人数をもとに想定。入級者は徐々に増え、年度末には70名程度となる見込み (2)事業費(トライアル分) 計448,500円 ・ 弁当購入費: 248,500円(試食会経費を含む) ↳ 試食会購入費: 28,000円 @1食単価(700円)×40名(昼食時間の想定利用者数)×1回 ↳ トライアル期間弁当購入費: 220,500円 @1食単価(700円)×15名(昼食時間の想定利用者数)×21回 ・ 備品等購入費: 200,000円 電子レンジ2台、業務用冷凍庫1台 (3)スケジュール(予定) ・ 5月16日 保護者会での説明 ・ 5月下旬 保護者への意向調査及び試食会・設備面準備 ・ 6月中 トライアル実施(6月中の平日21日間) ・ 7月中 保護者アンケート、アンケート結果を分析し本格実施検討

事業名	熱中症対策(エアコン設置助成)
セールスポイント	・ 熱中症リスクが高い世帯を対象に、エアコン購入費等の一部を助成するとともに、生活状況を把握し、必要な支援につなげる ・ 生活保護世帯には助成の他、ケースワーカーや支援員が訪問し、熱中症対策のアドバイスを行う

事業の内容	
1. 事業実施に至った経緯、背景など	近年の環境変化に伴う猛暑の影響で、熱中症による救急搬送や居宅死が例年発生しており、特に高齢者はそのリスクが高い。また、低所得世帯・生活保護世帯は冷房設備の購入・修理費用等を捻出することへの負担が大きく、設置していても故障等により使用できない場合もある。熱中症リスクの高い世帯に対し、令和6年度に緊急対策として助成事業を実施したが、一部未設置の世帯が存在するほか、修理費用のニーズも発生している。
2. 目的	熱中症リスクが高い世帯に対し、エアコン購入費用等を助成することにより、経済的な理由等で設置を躊躇している世帯の生活環境の改善、熱中症による救急搬送や死亡等を防止する。
3. 内容	熱中症リスクが高い世帯を対象に、エアコンの購入等に対する費用の一部を昨年度に続き助成する。 【高齢者世帯】 対 象 : ①世帯全員が75歳以上かつ住民税非課税 ②エアコンがないまたは設置しているが故障等により使用ができない状態にあるもの 補助内容 : エアコンの購入費、取付工事費、修理費、リサイクル料金 補助上限額: 購入費(取付工事費含む)80,000 円、修理費 30,000 円 受付の流れ: 高齢者総合相談センターに申請書を提出→訪問調査で助成可否を決定→購入・修理→請求書一式を高齢者総合相談センターに提出→口座振込 受付期間 : 令和7年6月2日(月)～令和7年12月26日(金) 【生活保護世帯】 対 象 : ①豊島区内に居住する世帯生活保護世帯 ②エアコンがないまたは設置しているが故障等により使用ができない状態にあるもの 補助内容 : エアコンの購入費、取付工事費、修理費、リサイクル料金 補助上限額: 購入費(取付工事費含む)単身世帯 80,000 円 複数人世帯 100,000 円、修理費 30,000 円 受付の流れ: 担当ケースワーカーに事前相談→生活福祉課・西部生活福祉課へ申請書を提出→助成可否を決定→購入設置・修理→請求書一式を生活福祉課・西部生活福祉課へ提出→口座振込 受付期間 : 令和7年6月2日(月)～令和7年12月26日(金)
4. 事業費	【高齢者世帯】 2,000,000 円 【生活保護世帯】 1,560,000 円

事業名	熱中症対策の本格始動（としま涼みどころ事業）
セールスポイント	- 区内の約40の区立施設等を「クーリングシェルター」「としま涼みどころ」に指定 - 豊島区薬剤師会と連携し、34か所の薬局を「涼みどころ薬局」として開設

事業の内容

1. 事業実施に至った経緯、背景など

- ・ 極端な高温等による健康被害へのリスクが高まり、都内でも熱中症による死者が増加しているなど、特に高齢者や子ども等、熱中症弱者の命を守るための取組が必要とされている。
- ・ 区では昨年度に続き、区民ひろば等約40の区立施設等を「クーリングシェルター」「としま涼みどころ」として指定。さらに区薬剤師会の協力により、約30の薬局を「涼みどころ薬局」として開設。
- ・ 区立公園においても、昨年度より開始した日除け用テント等の設置のほか、としまみどりの防災公園では、水遊びエリアが新たに誕生し、夏季の暑さ対策を取りながら、子どもたちが楽しく遊べる施設となった。

2. 目的

- ・ 自宅や屋外で暑さを感じた際に気軽に立ち寄ることができる場所の提供や、施設における熱中症予防の機能を付加することにより、近年ますます深刻化する熱中症リスクから区民の健康を守る。

3. 内容

種別	施設名 ※()は施設数	開設期間	設置数
としま 涼みどころ	区立施設： 地域区民ひろば(25)、図書館(6)、男女平等推進センター、健康プラザとしま、みらい館大明、豊島体育館、東池袋フレイル対策センター、としま区民センター 民間施設： アトリエ村、池袋ほんちょうの郷、ゆたか苑、菊かおる園	4月23日(水)～ 10月22日(水)	41 か所 (区立施設 37、 民間施設 4)
涼みどころ薬局	区内一部の薬局		34 か所

※気候変動適応法に基づく「クーリングシェルター」はとしま涼みどころの区立施設に池袋保健所、長崎健康相談所、池袋防災館を加えた 40 か所を指定。

事業名	区ホームページのリニューアル
セールスポイント	・ 10 年ぶりに、区ホームページを全面リニューアル ・ サイト内検索に AI 検索・要約機能を導入 ・ 「としまの魅力」を発信する特別サイトを創設

事業の内容									
1. 事業実施に至った経緯、背景など コロナ禍を経てデジタル化が進み、近年、より一層区ホームページの果たすべき役割が大きくなっている。 区ホームページは、平成 27 年 2 月にリニューアルを行って以降、構造はそのまま、適宜機能を充実させるなど改修を行ってきたが、「コンテンツが複雑化し、探しづらい」「スマートフォンから見やすくない」などの課題がある。									
2. 目的 「利用者が探している情報にスムーズにたどりつき、迷わずに目的を達成できる利便性の高いホームページ」となるよう、現行の区ホームページを全面リニューアルする。									
3. 内容 <table> <tr> <th>改善点</th><th>主な新機能</th></tr> <tr> <td>見やすさ</td><td> ・ シンプルで操作しやすいデザイン ・ スマートフォンから見やすいデザイン ・ 誰もが読みやすい UD(ユニバーサル デザイン)フォントを採用 </td></tr> <tr> <td>分かりやすさ</td><td> ・ 緊急情報の発信強化(安全・安心メールと連携・自動表示) ・ 多言語化の充実(自動翻訳言語を131言語に拡充、「やさしい日本語」への翻訳機能を導入) ・ ウェブ広報紙(HTML 版)の導入 </td></tr> <tr> <td>探しやすさ</td><td> ・ サイト内検索に、AI検索・要約機能を導入 ・ 「としまの魅力」を発信するサイトを創設するほか、「子育て・教育」、「オンライン申請」などのサイトを新たに追加 ・ イベントカレンダーの充実、一元化 </td></tr> </table>		改善点	主な新機能	見やすさ	・ シンプルで操作しやすいデザイン ・ スマートフォンから見やすいデザイン ・ 誰もが読みやすい UD(ユニバーサル デザイン)フォントを採用	分かりやすさ	・ 緊急情報の発信強化(安全・安心メールと連携・自動表示) ・ 多言語化の充実(自動翻訳言語を131言語に拡充、「やさしい日本語」への翻訳機能を導入) ・ ウェブ広報紙(HTML 版)の導入	探しやすさ	・ サイト内検索に、AI検索・要約機能を導入 ・ 「としまの魅力」を発信するサイトを創設するほか、「子育て・教育」、「オンライン申請」などのサイトを新たに追加 ・ イベントカレンダーの充実、一元化
改善点	主な新機能								
見やすさ	・ シンプルで操作しやすいデザイン ・ スマートフォンから見やすいデザイン ・ 誰もが読みやすい UD(ユニバーサル デザイン)フォントを採用								
分かりやすさ	・ 緊急情報の発信強化(安全・安心メールと連携・自動表示) ・ 多言語化の充実(自動翻訳言語を131言語に拡充、「やさしい日本語」への翻訳機能を導入) ・ ウェブ広報紙(HTML 版)の導入								
探しやすさ	・ サイト内検索に、AI検索・要約機能を導入 ・ 「としまの魅力」を発信するサイトを創設するほか、「子育て・教育」、「オンライン申請」などのサイトを新たに追加 ・ イベントカレンダーの充実、一元化								
4. 公開予定日 令和7年6月2日(月) 午前10時									
5. 事業費 63,384,000 円									